

令和3年度 第1回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会

- 1 日 時 令和3年12月13日（月曜日） 18時から19時5分まで
- 2 場 所 庁舎1階ホール（大）
- 3 出席者 （委員）
石川かず子、高水弘侑、田中幸男、中沢清、豆田和子
（事務局）
峯岸清（地域課長）、栗原康弘（地域課地域係長）、
岡部龍斗（地域課地域係主事）
（欠席者）
石川淳、井上祐輔、小松揚明
- 4 配付資料 （1） 次第
（2） 「協働」ってなんだろう？Volume1～7
（3） 瑞穂町協働のまちづくり推進委員名簿
（4） 瑞穂町協働のまちづくり推進委員会設置要綱
- 5 開 会 事務局より開会
- 6 あいさつ 峯岸地域課長挨拶
- 7 委嘱状交付 新型コロナウイルス感染拡大を考慮して事前に直接交付済み。
- 8 議 題 （1） 正副委員長の互選
委員長に中沢清氏、副委員長に豆田和子氏就任。
正副委員長の挨拶

議 題 （2） 各委員からの報告及び今年度の委員会活動について
 - コロナ禍ということ鑑み、改めて町職員に協働を意識してもらうため、「協働」ってなんだろう？Volume1～7を回覧して全職員に目を通してもらった。役場庁舎1階入口横スペースで2月中旬に町内会連合会が加入促進活動としてパネル展を実施するので、協働のまちづくり推進委員会の活動もパネル展に展示したい。さらに今後、各コミュニティセンター、町民会館でも展示できるようにしていきたい。ただし、コロナ禍のため、大きく周知することは難しいと考えている。（事務局）
 - 事務局主体で動くため、提供できるものがあれば事務局に直接提供するように。周知は、各委員の口コミ、SNS等を活用して情報発信していく。

- フラワーロードの取り組みは以前から非常に良い取り組みだと思っている。現在活動の状況は。
- 予算の問題が支障となっている。近所の園芸屋に協力をしてもらい、花を植えているがいつまでも頼るわけにはいかない。現在は二人で行っているので人手も足りない状況。
- 非常に良い活動で町にもメリットがある。花が植えてあるということは人の手が行き届いているということに繋がる。安心安全、防犯面でも良い。
- 植える場所はどういう場所か。種類は。(事務局)
- 道路の脇に畑があり、そこに植えている。もらいもののため種類は多くの種類になる。
- あきる野市では、市内一斉清掃後に花を植える取り組みをしている。
- 今後、活動に町内会を巻き込んでいきたい。
- 実際過去には、協働についての説明を町内会にした経緯がある。最近できていないので今後できたらいい。
- 協働事業の推進のため、委員の活動を紹介していきたい。職員の意識付けにも役立てていけたらと思っている。(事務局)
- 協働までには至らないとしても、ボランティア活動をとおして、協働につながるきっかけとなることもあるかもしれないので紹介していきたい。
- 協働とは、基本的には誰かと一緒に何かを成しえていく仕事であると思っている。昨今のSDGsやCSRが謳われている中で、委員の取り組みもCSRの一環としての取り組みが可能であり、誰かと誰かを巻き込んでいくことが協働に近づくのではないかと思う。

ボランティアセンターでは学校からの要請で、福祉体験という事業を実施している。一つのCSRの形として、第一小学校で企業と協力して取り組むことができた。

- 既にボランティア活動の中で、協働に近いことをしている方もいると聞いた。今後の活動の中で紹介してもらえるとありがたい。
- 最近会館ではなく、ZOOMを使って活動している。親子で何かできればいいとは思っているが、コロナ禍により手をつなぐことすら難しい。何かしらの方法でいろんな言葉、海外のことに触れてもらえたらとは考えている。
- 私はSNSを活用し、情報を発信している。協働の方でも活動を知ってもらうために何か活かせればと思っている。何よりも活動に興味を持ってもらい、役場の方へ気軽に足を運んで相談してもらえるようにすることも大切だと考えている。それとともに情報を発信し続けることが重要。

寿クラブの協力を得て、「通学路安全運転呼びかけ隊」を発足した。寿クラブは非常に熱心に参加してくれた。これも何か一つの協働なのではないか。

- 花植えの協力を得るため、建設課に相談済み。事例として役場前の花壇に第一小学校の児童が花を植えていたので、学校とコラボレーションしてもいいので

はないか。また、フラワーロードを広く周知するには写真を広報に掲載するのも一つ的手段。(事務局)

- 小学校に相談し、PTAと協力する手段もあるのでは。PTA活動の事例として、第一小学校では抗菌のペンキ塗り、第四小学校では芝刈りを実施した。保護者からの反響はよかった。活動にはやらされているという感覚ではなく、自発性を持たせないと続かない。

議題 (3) その他

- ボランティアセンター事業のPR
- 次回委員会は令和4年2月7日(月)、18時からを予定。(事務局)

9 閉会 豆田副委員長による閉会